

第1回糸島市中小企業振興審議会 会議録

【日時】令和3年2月24日（水）10:00～11:15

【場所】糸島市役所 1号会議室

【出席者】委員：大館委員 中原委員 吉田委員 小津委員 福島委員 藤野委員
村上委員 佐竹委員 岡本委員 尾崎委員 大城委員 安武委員

事務局：大神部長 松本課長 田中課長補佐 井上係長 中島主幹 甲斐主事

【内容】

1. 委嘱状の交付

2. 市長あいさつ

3. 委員の紹介

4. 会長、副会長の互選

会長 村上委員

副会長 福島委員

会長	今はデジタル化が進み社会的に大きな変化が起こっている。振興計画が単に中小企業が連携してだけでなく新しい社会を作るのに関わっていければ良いと思う。
副会長	移住先で定住せず帰ってしまう2大理由として、仕事とコミュニティが充足されないことがあげられる。移住に限らず生活全般においてもそう思う。私はいろんなところを見てきたので、その視点で臨めたらと思う。

5. 諮問

6. 説明事項

(1) 糸島市中小企業振興基本条例及び中小企業振興審議会について

事務局	資料に沿って説明
委員	質問なし

7. 議事

(1) 糸島市中小企業振興計画について

事務局	現在、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下であり、会議時間短縮のため、今回は議論を省略する。3月下旬開催予定の第2回審議会にて議論する。 資料に沿って糸島市中小企業振興計画（以下、計画）の概要を説明
会長	計画の「第2章 2. アンケート結果」について、現在、中小企業者を対象にアンケートを実施している。アンケートの集計結果と「第3章 施策の展開」との関連性を把握したうえで計画を策定する。委員は、中立的な立場で、中小企業が自発的に活動

	<p>できるような計画を策定していくことになると思う。</p> <p>実際に計画を推進するためには、「第4章 計画推進にむけて」が重要なポイントになる。どのような運営をしていくのか等も次回しっかり審議をする必要がある。</p>
委員	質問なし

(2) 事業者アンケートについて

事務局	資料に沿って説明
委員	<p>アンケートは商工会と同友会が主体で実施している。実施方法は、商工会会員へ書面配布と Google フォームである。現在の回答社数は 200~300 社。市内商工事業者は 2,000 社以上あるためできるだけ多く集めたい。</p> <p>回答締切は 2 月 15 日としていたが、締切を延長し随時受け付けている。</p> <p>今後のスケジュールは、3 月 5 日までに会長に回答データを提供し、次回審議会で、分析、クロスチェックしたアンケート結果を委員に提示する。</p>
会長	<p>アンケート内容について、中小企業振興条例を制定している田川市の事例を参考に糸島市のアンケートを作成し実施した。</p> <p>単純集計と要素間をみるクロス集計を見て、現場の方々がどうそれを判断するかというところから問題を見つけていけるような場づくりをしていければと思う。</p> <p>私が全てを分析すると偏った私見で物事を見てしまうので、現場での文脈をしっかりと持っている委員に判断してもらえればと思う。</p> <p>資料 5 「第 3 章 施策の展開」において、条例で 5 つ施策が明文化されている。アンケート結果から施策の展開の優先順位が見えてくると思う。優先順位を確定しながら基本計画の中身付けが必要だと思う。</p> <p>また、審議会では、現場で想定されないことも見出していければよいと思う。</p> <p>例えば、一般の方に商品を作って売る場合、一般の方のニーズを調査し商品化しても売れないことが多い。なぜかという、ニーズを調査しても一般の方自身が想定しないものがでてこないからである。審議会では、現場では見えないものが何らかの形で見つけてもらえると新しい取り組みが思いつくのではないかと思う。</p> <p>一次産品を売る、加工品を売る、ではなく、新しいビジネスモデルを提示していく必要がある。</p> <p>そのため、推進体制をどんな形で進めるのかが重要なので、ご意見もらったうえで組織運営をして進めていければと思う。</p>
事務局	<p>資料 5 の補足説明をする。</p> <p>糸島市では長期総合計画 (R3~R12) を策定している。</p> <p>中小企業振興計画は、長期総合計画の中の分野別計画という位置づけとなり、長期総合計画の前期 (R3~R7) である基本計画と整合性をとらなくてはならない。</p> <p>また、令和 4 年度の予算に反映させるために、令和 3 年 9 月までに計画を策定しなければならない。</p> <p>次回、長期総合計画前期の資料を配布する。</p>

委員	次回審議会の資料は事前にもらえるか。
事務局	次回の会議資料は、事前に郵送する。
委員	現在実施しているアンケートは企業目線のアンケートである。市民の声が事業者に届いていないので、市民を対象に商工業に関するアンケートを実施すると良い。
委員	今回のアンケートの対象は商工会、同友会会員だけか。 非会員への告知はどのようなか。
委員	対象は個人事業主を含む市内事業所である。 商工会、同友会会員だけ告知しており、会員の知り合いにも周知してもらうようにしている。
委員	様々な働き方が増えている。非会員への周知（市広報誌等）をお願いしたい。
事務局	時間的な制約があり、会員にアンケートを実施した。 今後行うアンケートは広く意見を聞いていきたい。
会長	今日の会議で新たにアンケート内容を検討すると、スケジュールに間に合わなくなる。時間的制約により事前にアンケートを実施した。 計画策定は非常にタイトな日程となっている。 市の長期総合計画と整合性を図る必要があるので、そこに即しながら必要なものを入れ込んでいく作業になっていく。 中小企業者だけでは気づけない部分を、市民の方から意見をもらう。また、子どもたちの意見は、夢のある妄想かもしれないが、実現する可能性だってある。計画（策定）中でなくても意見を聞くような機会を設けることができるといいのではと思う。 キャパ（キャパシティ、受け入れる容量）をもって意見を出していただいて、まとめていきたい。
委員	今後の施策を検討するにあたり、現在・過去行った施策と成果をまとめておいた方がよいのではないか。
事務局	次回審議会までに作成し提示する。

8. その他

(1) 次回審議会の開催日時 日時：3月22日（月）10：00～12：00

(2) その他

委員	Zoomで審議会を開催できないのか。
事務局	事務局市主催の会議で実施が可能か検討する。 現状は、Zoomに参加はできるが、有料コンテンツである主催はできない。

■閉会